

<p>【イベント名】 ミャンマーとの内視鏡、外科研修報告会</p>	<p>【概要】 今回のテレカンファレンスではミャンマー側の施設でいくつかの問題があったが、恐らくインターネットの帯域不足によるものと思われる。ミャンマーの医師の間で遠隔医療に対する興味は高まっているが、その技術を使うことを躊躇する医師もいる。会議中、何人かの医師はマイクに近づいて話す必要があった。九州大学病院からは多くのミャンマーの研修者が参加した。</p>
<p>【期日】 2019.10.24</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（日本）、ヤンゴン総合病院（ミャンマー）、ヤンゴン第一医科大学（ミャンマー）、マンダレー総合病院（ミャンマー）、ティンガンジュン サン・ピュア総合病院（ミャンマー）、ミャンマー保健スポーツ省（ミャンマー）、一般財団法人 海外通信・放送コンサルティング協力（JTEC）（日本）、ヤンゴン総合病院医師滞在先；横浜（日本）</p>	
	
<p>モニタに映し出される接続施設。</p>	<p>コメントするDr. Kyaw（中央）。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
<p>• Meet With Prof. Yao at Fukuoka University Chikushi Hospital ( 21.10.19 )</p> 	<p>• Meet With Prof. Yao at Fukuoka University Chikushi Hospital ( 21.10.19 )</p> 
<p>提示されたスライド。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>ミャンマーのエンジニアが接続を担当した。</p>	<p>九州大学病院での集合写真。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>